

# 紙風船



## “ 実りの秋 本番 ”



一雨ごとに気温もぐっと下がり、朝夕は“肌寒さ”を感じるようになりました。また、山々の木々も少しずつ色付き始めるとともに、道路沿いに広がる田んぼでは稲刈りも始まりました。いよいよ『実りの秋』本番を迎える時季となったようです。(昨日は『中秋の名月』。夜空に浮かぶまん丸の月も『実りの秋』を喜んでいるように感じました。)

さて、学校では前学期の締めくくりの時期を迎え、「これまでの学習や生活をふり返り、できたことやできなかったことを明らかにし、後期につなげようとしているところ」です。子どもたち一人一人、4月からどんな成長をすることができたのか、とても楽しみです。ご家庭でも、どんなことができるようになって、どんな成長ができたのか、ぜひ話題にしていただければと思います。

### 『学習発表会』

来月9日(日)に行われる『学習発表会』に向けた練習や準備も始まりしました。今年の学習発表会のテーマは「一人一人の元気を届ける みんなでつくるパーフェクト学習発表会」と決まり、子どもたちのやる気に満ちた表情がどんどん多く見られるようになりました。

当日はもちろん、それまでの準備の段階でも、今年はどんな子どもたちの頑張りが見られるのでしょうか。今からとても楽しみです。来週中には『学習発表会』の案内を配布させていただく予定ですが、ぜひご家族お揃いでお越しいただき、子どもたちの『キラッと!』輝く様子を目に焼き付けていただければと思います。また、子どもたちの『キラッと!』輝く様子を多くの地域の方々にも見ていただければと思いますので、ご近所の方々にも声をかけていただくようよろしくお願いいたします。



#### 新連載

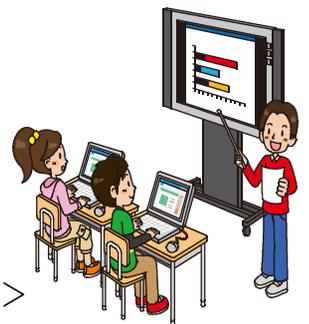
#### 100シリーズ

例えば、数年後には「小学校で『英語』の学習が始まること」や「『道徳』が国語や算数と同じように教科になること」など、学校に関わるいろいろなことの中で“わかっていそうで実はよくわからない(わかりにくい)こと”について、“これまでよりは少しわかるようになるため”に、紙面を借りて勉強していきたいと思います。保護者の皆様にとって関係ないことと思われるかもしれませんが、実は子どもたちを取り巻く環境(学習も生活も)に大きく影響していることでもありますので、この機会に一緒に考えていただければと思います。

記念すべき?最初のシリーズは、新『学習指導要領』とします。

そもそも『学習指導要領』ってなんですか。保護者の皆様にとっては初めて耳にする言葉かもしれませんね。『学習指導要領』とは、乱暴な言い方をすると「授業で学習する内容」(教員側からすると「指導する内容」)について細かく示しているものです。学習する内容を「示している」となっているので、「学習したくないから学習しない」ことができそうですが、実は『必ず学習しなければならない』もので強い拘束力があります。ですから、日本の小学校であれば、どの県でもどの地域でも必ず学習しなければならない内容がこの『学習指導要領』によって決められているのです。この『学習指導要領』はおよそ10年ごとに改訂されています。『学習指導要領』の改訂によって学習する内容が追加されたり減らされたりします。例えば、現在5、6年生で「外国語活動」を学習していますが、この「外国語活動」も、平成23年度から全面実施されている現在の小学校学習指導要領の改訂により新たに加わった学習内容なのです。

シリーズとした、新『学習指導要領』とは、小学校で平成32年度からの全面実施を想定して改訂しようとしているものです。平成32年度は現在の2年生が6年生になる時となりますので、3年生以上の保護者の方々にとっては関係ないことと考えがちになりますが、少なくとも現在の4年生が中学校3年生になる時には「新『学習指導要領』(中学校版)」で示された内容で学習することになりますので、4年生までは大いに関係があると言えます。また、改訂される『学習指導要領』の学習内容の一部は平成32年度になる前から「先行実施」されることがありますので、5、6年生は新『学習指導要領』に関係ないとは言いきれないものなのです。 <次号へ続く>



最初から長い文章となってしまいましたが、学校の学習内容が「学習指導要領」というものによって決められていること、その「学習指導要領」が数年後には新しくなること、それによって学習する内容が追加されたりする場合があること、などが今号のポイントとなります。

次号は、改訂される予定のポイント(『英語』の導入、『道徳』の教科化 など)について考えていきたいと思っています。

